

# 令和7年 8月号 東部公民館だより

発行：田辺市東部公民館 館長：栗栖 崇 主事：日下 智哉  
事務局 〒646-0025 田辺市神子浜一丁目4番66号  
TEL:0739-25-0360 FAX:0739-34-2585

## 終戦から 80年

太平洋戦争の終結から本年で80年を迎えます。  
日本は1937年から日中戦争、1941年からは12月8日にイギリス領マレー半島、及びアメリカ海軍基地のあったハワイ州真珠湾に侵襲したことをきっかけに、太平洋戦争へと突入しました。  
今回は、戦後80年の節目ということで、公民館区内にお住まいの竹中秀夫さんに当時の体験についてお話をお聴かせいただきましたので、以下に掲載いたします。

## 地域の戦争体験者への取材

取材日：7月15日（火）  
取材相手方：竹中 秀夫 さん

Q：まず、自己紹介をお願いしますか？

A：私は、昭和6年の8月生まれですので、もうすぐ94歳になります。戦後の混乱期で男性の教員が不足していた昭和27年に小学校教員に採用され、平成3年3月に退職しました。退職後の30余年は、田辺東部郷土史懇話会の名付け親でリーダーだった伊勢田進先生をはじめ、同好有志の皆様と一緒にこの地域の歴史や文化財の調査研究を楽しみの一つとして過ごしてきましたね。

Q：戦争が始まったときの状況を教えてください。

A：太平洋戦争開戦の情報は、家にあったラジオから初めて聞いたと思います。当時私は、田辺市立第二国民学校の4年生で、担任の先生は女性のK先生だったことを覚えています。

Q：戦争中、どのような経験をされましたか？

A：この辺では、今の文里・神子浜辺りにあった“田辺海兵団”が空襲の被害にあいました。民家が空襲で狙われるということはこの辺ではあまりなかったのですが、海兵団を狙った焼夷弾空襲によって、付近の民家30軒余りが火災の被害を受けました。当時私は上富田の岡に疎開しており、夜間、岡から田辺の方角を見ると空全体が真っ赤になっていました。その光景をはっきりと覚えています。人の噂は案外早いもので、一般家庭にはまだあまり電話が普及していなかった時代でありましたが、田辺の海兵団が焼夷弾空襲で燃えているという噂は岡まですぐに伝わってきました。自分の家も海兵団の近くにあったのでおそらく焼けてしまったんだろうなあと感じていましたが、翌朝家族と一緒に家を見に行くと焼けたのは我が家の一軒前まででした。

戦争末期には敵の攻撃も大胆になってきて、敵の戦闘機が乗員の顔が見えるくらい低いところまでやってきて、一般市民も機銃掃射の標的になることがありました。秋津・三栖・万呂辺りのあぜ道では、敵機が襲来し機銃掃射を受けることがあり、実際に、疎開先である岡までの道のりを移動していた私の父親がそのような場面に遭遇したことをあとから聞きました。

また、大阪を空襲する爆撃機は田辺の上空を航路として飛行することが多かったため、田辺上空をB-29が飛来することは日常のようになっていました。昼間によく飛んできて、上空を通過するだけでもそのたびに田辺では空襲警報が鳴り、帰りも又、田辺の上空を通過して帰って行きました。

Q：戦時中、特に印象に残っている出来事は何ですか？

A：太平洋戦争が始まってからは、成人男性のほとんど全ての人々に赤紙召集令状が来ましたが、日中戦争開戦間もない頃、私が小学校1年生のときの担任だったD先生から、「召集令状が来たので戦争へ行きます。」と告げられたことを覚えています。D先生は陸軍の将校さんでした。軍人になった先生が田辺を出発される時、クラスの皆で日の丸の小旗を持って元町の線路まで見送りに行きました。

Q：戦争で一番辛かったことは何ですか？

A：個人的に一番辛かったことは、海兵団の建設により住んでいた家が強制立ち退きになったことかな。立ち退きによって家業である農業ができなくなり、砥石山の採石業もできなくなり、収入が断たれたことが一番辛かったように思います。住居を取られ、家業ができなくなってしまったことは、子ども心でも辛かったので、親はなおさらだったと思います。

(次ページへ続く。)

Q：戦争が終わったときの気持ちを教えてください。

A：終戦で本当はほっとしたのかな。戦争でいろいろな苦しい目にもあったし、敵にいつ爆撃されるのか分からなかったのも、やれやれという思いだった。一方で、アメリカ、イギリスに負けたらあかんという思いでやってきていたので、悔しいという気持ちも確かにありました。

## 【「田辺海兵団神子浜 体験・追憶記」の紹介】

今回は、竹中秀夫さんの戦争体験を詳しくお伺いし、ご紹介しました。  
戦争がどれほど多くの人々の自由や人権、平穏な日常を奪うかを実感したとともに、現代の日本の平和や繁栄は、先人たちの辛苦の上に成り立っているのだと感じました。  
今回取材させていただいた竹中秀夫さんは、田辺東部郷土史懇話会（同会は平成22年に解散）の元会員で、同会では当地域にまつわる多くの歴史資料を残してくださっています。  
中でも、戦前・戦中・戦後の様子について地域住民からの体験記を集めた「田辺海兵団神子浜 体験・追憶記」は、神子浜の歴史について非常によくわかる内容となっています。公民館窓口にも一冊置いておりますので、御興味のある方は是非一度ご覧ください。

## 【田辺海兵団本部跡 及び 田辺引揚援護局本部跡 記念碑について】

取材後、竹中さんは文里二丁目にある「田辺海兵団本部跡、及び田辺引揚援護局本部跡」にも案内していただきました。

田辺海兵団は、太平洋戦争末期の1944年、戦局の悪化により兵員の急増を迫られた日本海軍が初年兵養成のため急ぎよ設置した訓練施設です。海兵団の建設は、まず当該地域の田・畑・山林等を強制接収（取り上げる）ことし、住民を期限付きで立ち退きさせることから始まりました。用地として接収された広さは、文里湾沿岸部一帯から田辺高校坂下の道路や神子浜二丁目付近までを含むおよそ56haにも及びます。

建設は1944年1月から急ピッチで進められ、同年9月1日に大阪海兵団田辺分団として開団、翌年5月1日に田辺海兵団と改称されます。連合軍の本土進攻に備え、特攻迎撃陣地の構築と迎撃準備に投入された兵員も指揮下に入れて約20,000名の大部隊となっていました。終戦直前の7月28日深夜に焼夷弾空襲を受け（竹中さんが岡から見た空襲と同じ）、兵舎10棟余りと付近の民家30軒が焼失し、兵員30数名、市民1名の犠牲者を出しました。

終戦後、海兵団の諸施設は海外からの復員兵士や一般邦人の引揚を受け入れるために利用されることとなり、1946年2月20日に田辺引揚援護局が同施設に設置され、市内に駐屯する米軍部隊監督のもと引揚援護業務に当たりました。全国で指定された18ある引揚港のうち、近畿では舞鶴と田辺の2港が指定され、1946年6月24日までに主として中国・台湾、マレーシア・インドネシア・パプアニューギニア等の東南アジア諸島から22万332人の引揚者を迎え、同時に戦争犠牲者1万1469柱の遺骨も無言の帰国をしました。

竹中さんによると、これまでに何度も故国への上陸第一歩の地を懐かしむ訪問者を見てきたと言います。

←田辺海兵団本部跡及び田辺引揚援護局本部跡の記念碑。田辺東部郷土史懇話会によって、平成15年に建立。（文里二丁目）

竹中さん、この度は本稿作成にあたりまして貴重なお話を御聴かせいただき、誠にありがとうございました。

(旧田辺海兵団本部) 田辺引揚援護局本部の写真

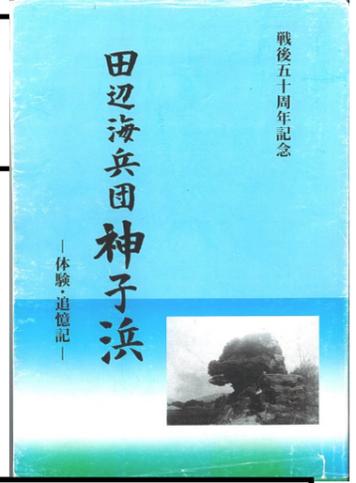
## これであなたも with 東陽中学校文芸部 スマホマスター!!

公民館のスマホ講座で楽しくスマホを学びましょう

地域の方を講師にお招きし、スマホ講座を開講します。少人数の講座でゆっくり学べますので、お気軽にご予約ください!

「はじめてのスマホ」入門編  
8月25日(月) 9時30分 ~ (1時間程度)  
●電源のオン・オフ  
●写真の撮り方、ピントの合わせ方  
●マナーモードの設定方法 …など

■場所：東部公民館 大集会室 ■定員：8人  
■申込期間：8月12日(火)～21日(木) ■申込先：東部公民館 (電話：25-0360)



# 剛健

4年生  
作品紹介



第573号 令和7年7月18日

田辺第二小学校 学校だより

## いよいよ夏休みが始まります！

いよいよ子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。まずは1学期によくがんばった点、努力した点についてお子さんとともに喜び合ってください、次に課題のある点については励ましていただければと思います。

長い休みになるとどうしても生活が不規則になりがちです。有意義なお休みにするためには、学習・生活の両面で目標を立て、できるだけ規則正しい生活をするのが大切です。子どもたちが決めた目標や時間の使い方などについて、ご家庭でもアドバイスをいただければと思います。1学期の復習や読書をしたり体力づくりをしたり、長い休みでなければできないことにも取り組めるよう応援してあげてください。



ケガや病気をしないことも、夏休みを楽しく過ごすために大切なことです。配布しております「ねうちのある夏休みに」をご参照いただき、ご家庭でもご指導をお願いいたします。

2学期の始業式には、全員が元気に登校してくれることを願っています。思い出いっぱいの良い夏休みにしてください。

## 夏休みの作品募集について

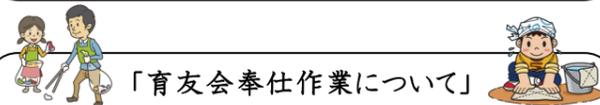
本年度も作品募集についての一覧表をお配りします。子ども自身が興味を持って取り組めるものがあれば、チャレンジしてみるのも素敵なことです。詳しくは、各学年からの課題についてのお知らせをご参照ください。

夏休み明けの校内作品展については今年も開催します。田辺・西牟婁社会科生活科、科学、家庭科作品展についても開催される予定です。

## 「個人面談について」

本年度もお子さんの様子などを話し合う機会として、個人面談を実施します。個人面談期間は、7月22日(火)～7月25日(金)、7月28日(月)を予定していますが、詳しくは学年便りをご参照ください。【学年によって日程が違います。】

なお、自動車の駐車はできませんので、徒歩、自転車、バイク等でご来校ください。ご協力よろしくお願いいたします。



## 「育友会奉仕作業について」

育友会学校支援部の皆様を中心に実施していただいている整備作業は、8月31日(日)午前8:00～10:00に決まりました。【雨天決行】

残暑の厳しい中で大変申し訳ございませんが、子どもたちにより良い学習環境を提供するため、保護者の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 「地区懇談会のご案内」



本年度の地区懇談会は、7月22日(火)に田辺第二小学校で開催します。テーマは『「児童の健全育成に向けて」～子どもの安心、安全、生活習慣について考える 学校・家庭・地域ぐるみで取り組もう～』です。学校・家庭・地域での子どもたちの様子について、気軽に話し合える地区懇談会になればと願っております。

ご多用の中ではありますが、たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

開催にあたりまして、各地区長様、育友会本部役員様をはじめ大勢の皆様にご協力をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 夏休み期間の図書の貸出しについて

○学校の図書室、教室の本を利用

各学年とも児童一人あたり2冊まで貸出ししています。返却日は登校日または9月1日(月)となっています。

## 夏休み中の行事予定

### 7月

22日(火) 水泳補習 個人面談  
地区懇談会19:30～  
23日(水) 水泳補習 個人面談  
24日(木) 水泳補習 個人面談  
25日(金) 水泳記録会①【予備日7月29日(火)】  
(1年、3年、6年)  
個人面談



28日(月) 水泳記録会②【予備日7月30日(水)】  
(なかよし、2年、4年、5年)  
個人面談

29日(火) 水泳記録会予備日①(1年、3年、6年)  
30日(水) 水泳記録会予備日②  
(なかよし、2年、4年、5年)



### 8月

7日(木) NHK音楽コンクール和歌山県コンクール(紀南文化会館)  
12日(火)～15日(金) 学校閉庁日  
21日(木) 全校登校日 8:00～10:00【10:05頃下校】

※合唱部練習日及び児童日直(5・6年生)については、担当からのプリントをご覧ください。

※夏休み中の学校には、土・日・祝日、8月12日(火)～8月15日(金)を除いて日直の職員がいます。何かあった場合は、ご連絡をお願いします。【8時～16時30分】 電話:22-6427



# 東陽中学校

田辺市立東陽中学校・学校だより  
8月号 令和7年7月18日

## 1学期 無事終了！

1学期では、縦割りで行う初めての体育大会や、積極的な意見を交わすことができた生徒総会など様々な行事を新たな形で取り組むことに挑戦する姿を見ることができました。また、先日実施された田辺・西牟婁中学校総合体育大会では、どのクラブも日頃の練習の成果を発揮し、最後の瞬間まで精一杯頑張ってくれました。バレーボール部のみなさんは、明日の大会しっかりと頑張ってきてください。

さて、7月19日から8月31日まで、44日間のいつもより少し長い夏休みに入ります。3年生にとって、全てが決まると言っても過言ではない大切な時です。進路実現に向け自分自身のために真剣に学習に取り組んでください。2年生には、部活動の新チームの主力としての活躍を、1年生には中学生として自覚ある生活と行動を期待しています。夏休みの過ごし方で、2学期以降の学校生活が大きく変わります。実りある夏休みにしてください。

保護者の皆様、地域の皆様、本校教育活動へのご理解とご協力をありがとうございました。夏休みは家庭や地域で過ごす時間が多くなります。生徒の安全と健全育成への支援をどうかよろしくお願いいたします。

## 田辺・西牟婁中学校総合体育大会

【卓球】	個人…第2位 内野 竣哉 第6位 川勝 悠勢	◆県大会出場
【サッカー】	1回戦…高雄中 0-2 敗退	
【剣道】	男子 個人…健闘しました。 団体…3位 女子 個人…ベスト8 佐武 菜結 竹本 里南 団体…3位	◆県大会出場
【陸上】	共通男子走幅跳 第1位 大石 優斗 第4位 濱野 友弘 2年男子100m 第3位 大石 優斗 共通女子走幅跳 第1位 前田 歩渚 共通女子100mH 第3位 吉田 遥 3年女子100m 第5位 大江 生桜 男子低学年4×100mR 第2位	◆県大会出場 ◆県大会出場 ◆県大会出場 ◆県大会出場
【軟式野球】	1回戦…高雄中 4-5 敗退	
【男子テニス】	個人…ベスト8 荒蒔 昂・大黒 充喜ペア 団体…1回戦 高雄中に勝利、2回戦 田辺中に敗退。	◆県大会出場
【女子テニス】	個人…健闘しました。 団体…1回戦 龍神中に勝利、2回戦 田辺STCに敗退。	
【男子バスケ】	優勝 ◆県大会出場 予選 高雄中 77-54 勝利 準決勝 上富田中 125-46 決勝 高雄中 112-46	
【女子バスケ】	3位 準決勝…明洋中 37-116 敗退	

※バレーボール部は明日大会が行われます。

## ★第71回全日本中学校通信陸上競技大会和歌山大会★

2年男子100m 第7位 大石 優斗